
2010年度 第2四半期決算説明会

2010年11月4日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

酒井 和夫

天然ガス系化学品カンパニープレジデント

山崎 慶重

特殊機能材カンパニープレジデント

宮内 雄

機能化学品カンパニープレジデント

倉井 敏磨

芳香族化学品カンパニープレジデント

酒井 幸男

財務経理センター長

杉田 克彦

本日の進行次第・配付資料

進行次第

1. 2010年度
第2四半期決算および業績予想
2. 質疑応答

配付資料

- ・スライド コピー
- ・ 2010年度第2四半期決算短信
- ・ ニュース クリップング集
- ・ MGC CORPORATE
DATA BOOK 2010
- ・ アンケート用紙

連結 2010年度 第2四半期実績

【単位:億円】

	2010年度 第2四半期累計	2009年度 第2四半期累計	増減	増減率
売上高	2,271	1,808	463	25.6%
営業利益	126	▲ 11	137	-
(持分法利益)	(78)	(25)	(53)	213.5%
経常利益	173	▲ 26	199	-
税前利益	82	▲ 36	118	-
四半期純利益	64	▲ 24	88	-

➤ 販売数量は全般に増加。但し、半導体向け製品の一部は、第2四半期後半に減速。

➤ 販売価格は、輸出比率の高い事業が円高の影響を受けるも、メタノールやメタノール・アンモニア系化学品は市況が上昇。

【参考】単体売上高: +307億円。

(数量要因: 283億、価格要因: 24億)

➤ 営業利益は、販売数量・販売価格要因に加え、コスト削減効果も相俟って137億円改善。

➤ 持分法利益は、海外メタノール生産会社を中心として53億円の増益。

1株当たり 四半期純利益	14.1円/株	▲ 5.4円/株	19.5円/株	-
中間配当金	4.0円/株	4.0円/株	0円/株	0.0%

➤ 投資有価証券評価損や資産除去債務会計の基準適用に伴う影響額など、91億円の特別損失を計上。

➤ 中間配当金は4円/株。

※ 本頁以下に記載されている数値は、単位未満四捨五入で表記しております。

セグメント別 連結 2010年度 第2四半期実績



【単位：億円】

	2010年度			2009年度	
	上期	1Q	2Q	上期	下期
売上高	2,271	1,109	1,162	1,808	2,038
天然ガス系化学品	723	324	399	551	662
芳香族化学品	554	279	276	441	517
機能化学品	720	354	366	554	648
特殊機能材	320	177	143	296	308
その他	4	2	2	5	6
消去または全社	▲ 50	▲ 27	▲ 23	▲ 39	▲ 104
営業利益	126	63	63	▲ 11	52
天然ガス系化学品	▲ 5	▲ 8	3	▲ 39	▲ 21
芳香族化学品	3	▲ 1	4	▲ 31	▲ 27
機能化学品	86	44	42	36	79
特殊機能材	50	26	23	29	32
その他	2	1	0	2	3
消去または全社	▲ 9	1	▲ 10	▲ 9	▲ 14

連結 2010年度 第2四半期 営業外損益・特別損益

【単位：億円】

	2010年度 第2四半期累計	2009年度 第2四半期累計	増減
営業外損益	47	▲ 15	62
持分法投資損益	78	25	53
金融収支	▲ 3	▲ 3	▲ 0
為替差損益	▲ 19	▲ 16	▲ 2
その他	▲ 10	▲ 21	10

特別利益	—	2	▲ 2
固定資産売却益	—	2	▲ 2
特別損失	▲ 91	▲ 12	▲ 79
投資有価証券評価損	▲ 64	—	▲ 64
資産除去債務会計の基準適用に伴う影響額	▲ 18	—	▲ 18
減損損失	▲ 6	▲ 5	▲ 0
環境改善対策費用	▲ 3	—	▲ 3
貸倒損失	—	▲ 4	4
事業撤退損	—	▲ 3	3

- 投資有価証券評価損(洗替方式採用)として64億円を計上。
- 資産除去債務会計の基準適用に伴う影響額として、天然ガス田の廃坑費用を中心に18億円を計上。

(注)本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2010年度 第2四半期 貸借対照表



【単位:億円】

	2010年9月末	2010年3月末	増減	メモ
流動資産	2,316	2,181	136	
現預金	390	276	114	
売掛債権	1,073	1,041	32	
棚卸資産	654	620	34	
その他	200	244	▲ 44	
固定資産	3,321	3,213	108	
有形・無形固定資産	1,813	1,660	153	設備投資:146億円、新規連結等:157億、 減価償却:▲138億円、為替換算影響:▲5億円、 除却等:▲7億円
投資有価証券	1,257	1,305	▲ 48	減少理由:株価下落、円高による為替換算影響など
その他の資産	252	249	3	
資産合計	5,638	5,394	244	
負債	2,831	2,613	218	
買掛債務	623	565	58	
有利子負債	1,776	1,658	117	増加理由:新規連結、リース債務の増加など
その他	433	390	43	増加理由:資産除去債務の計上など
純資産	2,806	2,781	25	
株主資本	2,955	2,920	35	自己資本比率 2010年9月末 48.0% 2010年3月末 49.9%
評価・換算差額等	▲ 249	▲ 228	▲ 21	減少理由:株価下落、円高による為替換算影響など
少数株主持分	101	89	12	
負債・資本合計	5,638	5,394	244	

連結 2010年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書

	2010年度 第2四半期累計期間	2009年度 第2四半期累計期間	増減
営業キャッシュフロー (a)	216	121	96
税前利益	82	▲ 36	118
減価償却費	138	137	1
持分法投資損益	▲ 78	▲ 25	▲ 53
持分法適用会社からの配当金受取額	38	43	▲ 5
運転資金等	50	▲ 49	100
法人税等支払額	▲ 14	51	▲ 65
投資キャッシュフロー (b)	▲ 132	▲ 157	25
設備資金	▲ 115	▲ 150	34
投融資資金等	▲ 16	▲ 7	▲ 9
財務キャッシュフロー	▲ 11	▲ 88	77
借入金・社債増減等	11	▲ 50	61
配当金支払	▲ 22	▲ 38	16
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	0	5
現金及び現金同等物の増減	79	▲ 124	203
現金及び現金同等物の期首残高	360	531	▲ 170
連結追加・合併による増加額	5	8	▲ 3
現金及び現金同等物の期末残高	444	415	29

【単位：億円】

天然ガス系化学品

	2010年度(実績・予想)			2009年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	723	790	1,512	551	662	1,213	171	128	299
営業利益	▲ 5	12	7	▲ 39	▲ 21	▲ 59	33	33	66

【単位:億円】

2010年度 上期(実績)

➤ メタノール

ブルネイ・ベネズエラの新規プラント稼働による販売数量の増加や、平均市況(2010年1~6月)が前年同期より90ドル程度上昇したことから、増収。

海外メタノール生産会社の持分法利益も増加。

➤ メタノール・アンモニア系化学品

全般的な販売数量の増加に加え、MMAやネオペンチルグリコールの需給逼迫による市況上昇もあり、前年同期を上回る。

➤ 酵素・補酵素類

コエンザイムQ10の損益が若干改善するも、低調に推移。

➤ 天然ガス・エネルギー販売

原油販売価格の上昇により増益。

2010年度 下期(予想)

販売数量の増加が続き、増収の見込み。

一方、平均市況(7-12月)は、7-9月の市況の影響から、上期実績を20ドル程度下回ると想定し、持分法利益は上期比で減少の見通し。

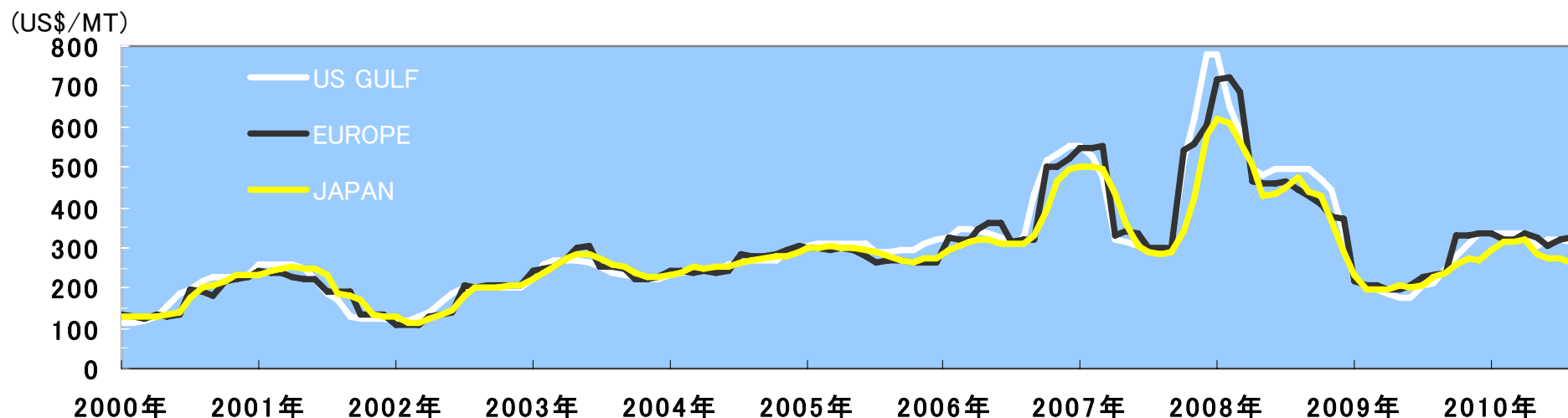
円高の影響を受ける製品もあるが、販売数量、製品市況ともに堅調に推移する見通し。修繕費の減少もあり、営業黒字に転換すると想定。

上期と同様の厳しい状況が続くが、高付加価値品の販売数量拡大に注力する。

原油の販売数量増加により若干の改善を見込む。

天然ガス系化学品

メタノール価格の推移



(2010年度下期以降の展望)

需給動向: 需要は、中国の燃料用途や既存の化学品用途を含め、世界全体で堅調に増加。

供給は、エジプト(130万トン)の新規プラント稼働が予定されているが、需要増により概ね吸収される見込みであり、今後も中国の石炭原料プラントが、市況の上下に応じて稼働と停止を繰り返すと想定。

⇒ 価格動向: 引き続き中国の石炭原料プラントが調整弁となり、現行の原油価格水準を前提として、市況は250～300ドルの範囲で変動すると想定。

天然ガス系化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向	備考
メタノール	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ブルネイ 85万t/y 2010年2Q 商業運転開始 ベネズエラ 85万t/y 2010年3Q 商業運転開始 ⇒ 世界3極体制の確立 ⇒ 今後もメタノール事業のグローバル展開を拡大 	
メチルアミン事業	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中国でのメチルアミン事業についてタミンコ社と提携 ⇒ 南京のメチルアミン誘導品製造子会社である菱天(南京)精細化工有限公司の株式50%を譲渡 ⇒ 合弁会社において付加価値の高いジメチルアミノエタノールなどを新規展開し、メチルアミン事業を強化 	
新規製品	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ピロロキノリンキノン(PQQ) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新潟で小規模な生産体制を整備 ⇒ PQQ供給量を増やし米国での本格マーケティングを加速 ⇒ 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討 ◇ SPG-PET「ALTESTER®」 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 食品・電子部品の包装材料として市場開発を推進 ⇒ 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討 	<p>用途：健康食品素材 (ブレインフード)</p> <p>用途：食品包装容器など 特徴：耐熱性と透明性を向上 させたポリエステル樹脂</p>

芳香族化学品

	2010年度(実績・予想)			2009年度(実績)			増減			【単位:億円】
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	554	512	1,066	441	517	959	113	▲ 6	107	
営業利益	3	▲ 7	▲ 4	▲ 31	▲ 27	▲ 58	34	21	55	

2010年度 上期(実績)

▶メタキシレンジアミン、MXナイロン

円高の影響を受けたものの、欧米を中心とする海外需要が好調で、収益改善。

▶高純度イソフタル酸

中国を始めとするアジアのPETボトル向け需要が拡大したが、円高や市況の低迷により、損益は低調に推移。

▶その他特殊芳香族製品

芳香族アルデヒドの販売数量の増加などから、増収増益。

2010年度 下期(予想)

円高による採算悪化はあるものの、需要好調による販売数量の伸長で、上期並みの収益を維持できると想定。

販売数量は堅調に推移するが、円高による採算悪化や、原料メタキシレン新設備の償却負担などにより固定費が増加し、上期を下回る見通し。

芳香族アルデヒドの販売数量が更に増加し、上期を上回る見込み。

芳香族化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向	備考
高純度イソフタル酸	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 高純度イソフタル酸の事業再編を実施 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 製造・販売子会社であるエイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株)を完全子会社化し、2010年9月1日付で営業機能を当社に移管 ⇒ 当社の営業ネットワークの活用による販売力の強化や間接部門の合理化によるコスト削減で収益改善を目指す 	
新規製品	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 高耐熱性無色透明ポリイミドフィルム「ネオプリム[®]」 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ フレキシブルディスプレイ、フレキシブル薄膜太陽電池向けに市場開発を推進 ⇒ 2012年度の本格商業化(月産10万m²)を目指す ◇ 高純度ナフタレンジカルボン酸 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 水島工場 900t/y 試運転中 ⇒ ナフタレンジカルボン酸ジメチルエステル(NDCM)事業の拡大を推進 ◇ 核水添ポリカルボン酸 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ LED封止材やディスプレイ部材向けの原料モノマーとして実需化 ⇒ 2012年の本格商業化を目指す 	<p>用途：透明電極基板 (フレキシブルディスプレイ、光センサー、太陽電池等)</p> <p>特徴：高耐熱性、無色透明</p> <p>用途：液晶ポリマー原料 (コネクター等の高耐熱性射出成形材料)</p> <p>用途：LED封止材、ディスプレイ部材など</p> <p>特徴：耐候性、無色透明</p>

機能化学品

	2010年度(実績・予想)			2009年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	720	614	1,334	554	648	1,202	166	▲ 34	132
営業利益	86	54	140	36	79	115	50	▲ 25	25

【単位:億円】

2010年度 上期(実績)

➤ 工業用無機薬品

過酸化水素の販売数量が紙パルプや工業酸化剤向けに増加したことなどから、収益改善。

➤ 電子工業用薬品

半導体向けを中心とする需要が好調で海外子会社を含め、増収増益。

➤ エンジニアリングプラスチック

PCとPOMは、好調なアジア需要に牽引され、前年同期を上回る。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルム需要が前期に引き続き好調で増収増益。

2010年度 下期(予想)

過酸化水素は堅調に推移する見通し。

半導体向け製品の収益が、国内外で上期に比べ低下する見込み。

PCは、原料ビスフェノールAの上昇が懸念されるも、修繕費の減少から上期をやや上回り、POMは上期並みに推移する見込み。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量の減少や平均販売単価の下落などから、上期を下回ると想定。

機能化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
電子工業用薬品	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 四日市工場 超純過酸化水素 1万2千t/y 2010年3Q 商業運転開始 ⇒ 山北工場、佐賀製造所に次ぐ国内3拠点体制を構築 ◇ 米国 超純アンモニア水 3千t/y 試運転中（2011年1Q商業運転開始予定） ⇒ 米国における半導体向け需要増大に対応 ◇ 中国 化学研磨液 3千t/y 2010年2Q 商業運転開始 ⇒ 中国におけるプリント配線板向け需要増大に対応
ポリカーボネート	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中国 上海 10万t/y 建設中（2012年4月稼動予定） ⇒ 素材生産、コンパウンド、テクニカルサービスの一貫拠点を構築
ポリカーボネート フィルム	<ul style="list-style-type: none"> ◇ PCフィルム 増強設備 2010年3Q 商業運転開始 ⇒ フラットパネルディスプレイ向け需要の動向を踏まえ、次期増設を検討
特殊ポリカーボネート	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 鹿島工場 特殊ポリカーボネート 400t/y 2010年3Q 量産開始 ⇒ 光学レンズ・フィルム用途へ展開
ポリアセタール	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 海外拠点での増産を検討

特殊機能材

	2010年度(実績・予想)			2009年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	320	288	608	296	308	604	24	▲ 21	4
営業利益	50	33	83	29	32	61	20	1	21

【単位:億円】

2010年度 上期(実績)

➤ 電子材料

BT材料は、携帯電子機器・デジタル家電用途の半導体パッケージ向け需要が第1四半期好調に推移。第2四半期に減速するも、前年同期を上回る販売数量とコスト削減効果により、増収増益。

➤ 脱酸素剤

主用途である国内食品分野において猛暑の影響を受けるも、その他用途が堅調に推移したこともあり、前年同期をやや上回る。

2010年度 下期(予想)

BT材料は、上期終盤からのユーザーにおける在庫調整に加え、季節要因による需要減少により、販売数量が減少することなどから、上期を下回ると想定。

国内外ともに販売数量が堅調に推移し、上期並みの収益水準となる見通し。

特殊機能材 電子材料売上高、世界半導体市場規模の推移



電子材料売上高	100.0	56.4	60.2	78.9	90.6	114.3	120.9	135.4	90.9	101.6	105.1
世界半導体市場規模	100.0	68.0	68.9	81.4	104.2	111.3	121.2	125.1	121.7	110.7	142.4

セグメント別 連結 2010年度 通期予想

【単位:億円】

	2010年度(実績・予想)			2009年度(実績)			増 減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,271	2,179	4,450	1,808	2,038	3,845	463	142	605
天然ガス系化学品	723	790	1,512	551	662	1,213	171	128	299
芳香族化学品	554	512	1,066	441	517	959	113	▲ 6	107
機能化学品	720	614	1,334	554	648	1,202	166	▲ 34	132
特殊機能材	320	288	608	296	308	604	24	▲ 21	4
その他	4	4	8	5	6	11	▲ 0	▲ 2	▲ 3
消去または全社	▲ 50	▲ 28	▲ 78	▲ 39	▲ 104	▲ 143	▲ 12	76	65
営業利益	126	84	210	▲ 11	52	41	137	32	169
天然ガス系化学品	▲ 5	12	7	▲ 39	▲ 21	▲ 59	33	33	66
芳香族化学品	3	▲ 7	▲ 4	▲ 31	▲ 27	▲ 58	34	21	55
機能化学品	86	54	140	36	79	115	50	▲ 25	25
特殊機能材	50	33	83	29	32	61	20	1	21
その他	2	1	3	2	3	5	▲ 1	▲ 1	▲ 2
消去または全社	▲ 9	▲ 9	▲ 18	▲ 9	▲ 14	▲ 23	0	4	4

連結 2010年度 通期予想

【単位:億円】

	2010年度 (予想)	2009年度 (実績)	増減	増減率
売上高	4,450	3,845	605	15.7%
営業利益	210	41	169	413.3%
(持分法利益)	(140)	(88)	(52)	59.2%
経常利益	300	74	226	307.3%
税前利益	190	75	115	152.3%
当期純利益	150	58	92	157.4%

D/Eレシオ	0.67	0.62	0.05pt	8.1%
ROA*	5.3%	1.4%	3.9pt	278.6%
ROE	5.5%	2.2%	3.3pt	150.0%
1株当たり 当期純利益	33.2円/株	12.9円/株	20.3円/株	157.4%
年間配当金	8.0円/株	8.0円/株	0円/株	0.0%

* 経常利益ベース

- 下期為替前提：85¥/US\$ 110¥/€
- 営業利益、持分法利益、経常利益、当期純利益の何れも前期比で大きく改善する見通し。
- 但し、PCフィルムやBT材料の販売数量の減少や、円高の影響などにより、下期は上期比で減益を想定するため、業績の改善ペースは減速。
- 特別損益は、110億円のマイナスを想定。第2四半期に計上した投資有価証券評価損(洗替方式採用)を期末に織り込んでいる。
- 配当金は、中間・期末とも4円/株。

配当の状況

		2010年度 (実績・予想)	2009年度 (実績)	2008年度 (実績)
1株当り配当金	第2四半期末	4.0 円	4.0 円	8.0 円
	期 末	4.0 円	4.0 円	8.0 円
	合 計	8.0 円	8.0 円	16.0 円
配当金総額	第2四半期末	18億円	18億円	37億円
	期 末	18億円	18億円	36億円
	合 計	36億円	36億円	73億円
1株当り当期純利益	期 末	33円18銭	12円89銭	15円30銭
配当性向(連結)	合 計	24.1%	62.1%	104.6%

【参考資料①】セグメント別 連結経常利益

【単位：億円】

	2010年度(実績・予想)			2009年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	173	127	300	▲ 26	100	74	199	28	226
天然ガス系化学品	37	42	79	▲ 34	11	▲ 23	72	31	102
芳香族化学品	▲ 4	▲ 16	▲ 20	▲ 45	▲ 36	▲ 81	42	20	62
機能化学品	89	65	153	35	89	125	53	▲ 25	29
特殊機能材	50	33	83	26	29	55	24	4	28
その他	10	8	17	7	9	16	2	▲ 1	1
消去または全社	▲ 9	▲ 4	▲ 13	▲ 15	▲ 3	▲ 18	6	▲ 1	4

※ 本年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および

「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)の適用に伴い、
四半期短信および四半期報告書のセグメント情報については、経常損益を開示しております。

【参考資料②】各種指標

1. 各種指標推移(連結)

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績・予想
設備投資額	175	295	394	351	276	400
(うち第2四半期累計)	132	147	160	193	141	146
減価償却費	188	注) 198	注) 245	289	295	300
(うち第2四半期累計)	94	91	110	135	137	138
研究開発費	106	115	136	147	162	156
(うち第2四半期累計)	55	58	66	67	74	74
人員 (年度末時点)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	5,159人
一株当り 当期利益	71.0円	86.6円	87.0円	15.3円	12.9円	33.2円
ROA (総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	5.3%
ROE (自己資本利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	5.5%
配当額	10.0円	14.0円	16.0円	16.0円	8.0円	8.0円
(うち第2四半期末)	4.0円	6.0円	8.0円	8.0円	4.0円	4.0円

注) 2006年度の減価償却費は、
特損に計上した88億円を除いた額となっております。

2. セグメント別 設備投資額・減価償却額(連結)

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	
設備投資額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	69
	芳香族化学品	47	75	172	106	82
	機能化学品	69	87	74	91	86
	特殊機能材	32	70	92	47	38
	その他	0	0	0	0	0
減価償却費	天然ガス系化学品	45	46	54	64	71
	芳香族化学品	36	37	52	77	86
	機能化学品	71	80	96	97	89
	特殊機能材	35	36	42	51	50
	その他	0	0	0	0	0

3. 業績前提

	2005年度実績		2006年度実績		2007年度実績		2008年度実績		2009年度実績		2010年度		メモ
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期(実)	下期(予)	
メタノール (US\$/MT)	270~290	250~270	280~300	370~390	370~390	360~380	460~480	290~310	160~180	220~240	250~270	230~250	
原料キシレン (円/kg)	69	83	99	96	108	103	122	56	72	73	71	71	公示価格
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700	1,800 ~2,100	2,000 ~2,500	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	
為替 (円/US\$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90	89	85	

※メタノールについては、上期は1-6月、下期は7-12月を示す。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報IR部(北川、西村)

TEL 03-3283-5041

FAX 03-3287-0833

<http://www.mgc.co.jp/>

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。